

「それにね、もしも本当にスポンサーがついて、商品を販売することができたら、その売り上げをさ……。」  
「なんだ？ 水族館部のみんなで、パーティとカラオケ&すし宴会？」  
「もー！ バカ部長！ 長浜水族館の再建に使うんだよ！」  
「ああ？！ そ、そうかあ！」  
ぼくは、どきんとした。

長浜の町には、もと「長浜水族館」という水族館があった。なんでも、子どもの教育にとでもだいじであるという考えで、一九三五年当時の町長であった西村兵太郎さん（銅像が学校の角にある）という人が、四国で初めての水族館を長浜に作ったという。

おばあちゃんに聞いた話では、長浜水族館は大人気で、たくさんのお客が町に来たそう。童宮城の形をしたその水族館は町の人にも親しまれていたが、古くなり、維持ができなくて一九八六年に閉館、とりこわされてしまった。

長浜水族館の再建を望む声は多くけれど、なかなかむずかしいということも、知っていた。  
「長浜水族館が再建されたらさ、長高水族館と、あと町の人みんなが持っている水槽も一般公開して、それをぜんぶひとつにつなげて、『長浜の町全部が水族館！』っていうのが夢だつて、重盛先生が言つてた。」  
「町全部が水族館……すごいなあ。」  
知らずに天をおおいでいた。

「もしそうになったら、長浜高校もステキな町にある学校だつてすごく有名になつて、夢見たいに引越しても長浜高校に来たいって人がもつともつと増えるんじゃない？ そうなつたら学校も、水族館部もなくなるじゃない！ ううん、どんどん大きくなるかも！」  
「え。」

ぼくは友香の顔を見つめた。  
「友香……魔校の危機のこと、知つてたの？」  
すると友香が大きくうなずいた。

「助浜先輩が、部室であきらに話したこと、ろうかに聞いて聞こえちゃつたんだ。それですぐに重盛先生に本当のことなのか、たしかめに行つて。そのときに『町全部が水族館』っていう夢と目標を、先生や町の人たちが持つていて教えてもらったの。」  
「そ、そうだったのか。」

ぼくは②自分一人がもやもやと考えるときに、友香はこんな大きなことを考えていたのかと、はずかしくなつた。  
「その第一歩はこれだつて思つた！ 夏休みに日本政策金融公庫の『高校生ビジネスプラン・グランプリ』の担当の人が、ビジネスプランの立て方の出張授業に来てくれるつて言うから、まずはそれに参加する。それで、クラゲ予防クリームを開発する！ そしてもちろん……。」  
「グランプリをとる！ だろ？」  
「そう！ そのとおり！」

友香がはじけるように、笑い声を上げた。ぼくもいっしょに大声で笑つた。  
「あー、笑つたらスッキリした！ こんなに大笑いしたの、ひさしぶりだな！」  
「わたしもだよ。」

友香も、まだ半分笑つている顔のまま、うなずいた。  
「あきら、がんばろう。自分たちでやれることはみんなやつてみようよ。」  
「うん。そうだな。つて、ああーっ、電車来る時間だよ！」  
友香がスマホの時計を見るなりさげんで、駅に向かって走り出した。

「お、おい、待てよ！」  
「部長、おそいよ！」  
ちよつとだけこつちをふり返つて友香はどなった。  
「なんてやつだ！ そつちが引きとめて話し出したのに。」  
あきれたが、  
「……まあ、いいけどさ。」

友香と話しをおかきで、胸に風が通つたようだったし、なんだか③自分が向かう道が……自分しか進めない道が……見えたような気がなつていた。  
(令丈ヒロ子「長浜高校水族館部！」)

(5) 次の□は、佐藤さんと片野さんが、「友香」の行動や会話文に着目して話し合つている様子である。  
A □ D □に入る最も適切な言葉を、それぞれ指定された字数で本文中から抜き出して書きなさい。

佐藤 友香の「新しい目標」は、単に商品を販売して売り上げを得たいつていうだけではないよね。

片野 売り上げで、一種の「町興し」をしたつて、というのが最終目標だと思つたんだけど、それに先行して A(十二字) を継承したいつていう学術的な動機、そして先輩に対する尊敬があると思う。

佐藤 うん。先輩たちの研究論文を B(七字) つて表現しているほどだもん。

片野 そのうえで C(七字) つていう壮大なロマンを実現したいつていうことだよ。これが実現したら本当に素敵だと思う。

佐藤 友香には、ある程度の勝算があるようにも読める。とりあえず参加してみようか……なんて生半可な気持ちではなくて、 D(五字) つていう高校生にとつては切実な問題もあるしね。

(6) 次のメモは、片野さんが、——線部③の表現の効果を「あきら」の気持ちと関連させて考えるためのものである。メモを踏まえて、「敢えて同じような内容の表現を反復することによって、」の書き出しに続け、「という効果がある。」の文末に続くように、四十文字以上五十文字以内で表現の効果を説明しなさい。  
メモ  
・「自分が向かう道が」と「自分しか進めない道が」と、敢えて同じような内容の表現が反復されている効果を考えたい。  
・「友香」との会話を通じた「あきら」の気持ちの変化を関連させたい。

【問五】 次の文章を読んで、下の各問いに答えなさい。

（主な登場人物）○あきら：長浜高校の二年生で水族館部部長。○友香：ともか 副部長。○紅佳：べにか 退部を決意した部員。○重盛先生：じゅうじょう 水族館部の顧問教諭。○中森先輩・星野先輩：水族館部のOG。

（全力でがんばる、なんて言ったけど、やっぱりぼくには部長なんて無理なのかな。）

（しばらく無言で歩いてたが、駅の屋根が見えてきたとき、友香が言った。）

「明日から夏休みだね……。」

「そうだな。」

夏休みだからって、一般公開日は休みにならないし、生き物の世話もある。

津島合宿の段取りも、先生に聞いておかないといけない。

それに紅佳がもどらないと決まってる、ハンシヨク班はどうなるのか。一年生だけでどうやって続けていくのか、いや続けるかどうかから考えないといけない。

自分の研究だって、放っておくわけにはいかない。むしろ夏休みに集中して、データを集めないといけないし……。

「あきら、あのさ、わたし、見つけちゃった。新しい目標。」

友香のその言葉に、考えごとでいっぱいだった頭に①すいっとすきまができた。

「え？」

「聞いてくれる？」

「こつちを見上げた友香のヒトミが、光をはね返す真昼の川面かわもみたいにキラキラ輝いていた。

「新しい目標って？」

「思わず足を止め、友香に聞き返した。

「これ！」

友香がかばんからとり出した、パンフレットのような小冊子を見た。

『高校生ビジネスプラン・グランプリ』？ なにこれ？」

「この間、ミーティングのときに重盛先生が、紹介してたの聞いてなかった？ 高校生が商品を開発したり、地域の開発につながる企画をプレゼンテーションする大会だ。専門家が審査してくれてさ。これで優勝したら注目が集まってスポンサーがついて、本当に企画が実現するかも！」

「企画が実現？ スポンサー？ って、友香、いったいなにをする気？」

「クラゲ予防クリームの製作・販売の企画！」

「クラゲ予防……あつ！ 中森先輩と星野先輩の研究論文の、あれのことか！」

中森・星野さんコンビがまとめたレジュメ論文『ハタゴイソギンチャク刺胞射出の秘密』の展望にあった考えた。

「クラゲはイソギンチャクと同じ、刺胞動物だ。毒針を出すメカニズムが同じだとしたら、マグネシウムを使って、クラゲ予防クリームを開発できるかもしれない。」

「その後の研究で、クラゲがイソギンチャクと同じように、水中にマグネシウムイオンが多いと毒針を出さないことまではわかった。でも、先輩たちはクラゲ予防クリ

ームの開発までではできないで卒業したのだ。

「研究っていう形じゃないけど、でもこれを実現したら、あこがれの先輩たちの研究のあとをついで、発展させることになるんじゃないかって、気がついたの。」

「なるほど！ それはいい！ すごくいいよ！」

解答用紙

47ページ

模範解答

58ページ

(1) 文章中の~~~~線部のカタカナを漢字に直して、

楷書で書きなさい。

①ハンシヨク ②ヒトミ

(2) 線部①の本文中の意味として最も適切なものを次のア〜エから一つ選び、記号を書きなさい。

ア 友香の目標が自分の目標と一致する確信を得た。

イ 友香の提案が極めて重要だろうということを感じた。

ウ 友香の発言に自然に関心を向けることができた。

エ 友香の言うすべてを受け入れる心づもりができた。

(3) この物語には「あきら」が認識している長浜という地域の事情が説明されている。その事情が書かれている段落を文章中からさがし、最初と最後の六字を書きなさい。

(4) 線部②とあるが、その内容としてあてはまらないものを次のア〜エから一つ選び、記号を書きなさい。

ア 自分の研究データを十分に集めること。

イ 先輩らの研究論文を広く公開すること。

ウ 一年生だけで班活動を続けさせること。

エ 夏休み中に合宿の段取りを考えること。

御祈りのあるぞや」といはれければ、「そのために、三尺のねずみをつくり、

供養せむと思ひ侍る」といはれたりける。をりふし、ねずみの御簾のきはを、

走り通りけるを見て、観音に思ひまがへて、のたまひけるなり。

「時雨さし入れよ」には、まさりて⑥をかしかりけり。

(「十訓抄」)

## 文章Ⅱ

孫子荊、年少き時、隠れんと欲し、王武子に語りて、当に石に枕し流れに漱がんとすべき

に、誤りて石に漱ぎ流れに枕せんと曰へり。王曰はく、「流れは枕すべく、石は漱ぐべきか」

と。孫曰はく、「流れに枕する所以は、其の耳を洗はんと欲し、石に漱ぐ所以は、⑦其の齒

を礪かんと欲すればなり」と。

(6) 線部④「のたまひける」、⑤「笑ひあはれけり」の主語にあ

たるものを、次のア〜カから一つずつ選び、記号を書きなさい。

ア ある女房    イ 宮ばら    ウ 大納言

エ 雑色    オ 雑色と大納言    カ 宮ばらと女房たち

(7) 線部⑥「をかしかりけり」とあるが、作者はどういうこ

とを「をかしかりけり」と感じたのか。最も適切なものを次の

ア〜オから一つ選び、記号を書きなさい。

ア 大納言がねずみに似せた観音を作ってお祈りしたこと。

イ 大納言が三尺もあるねずみを作って供養したこと。

ウ 大納言がせつかく三尺もあるねずみを作ったのに供養し

なかつたこと。

エ 大納言が走り抜けたねずみを見て観音と勘違いしたこと。

オ 大納言が観音というべきところをねずみと言ってしまつ

たこと。

(8) 文章Ⅰ・文章Ⅱとも言い間違いのエピソードという共通点がある。文章Ⅱは、そのエピソードから、漱石枕流という語句が

うまれた。この四字熟語の意味をまとめた次の文のA、Bにあ

てはまる適切な語句を書きなさい。

漱石枕流とは、自分のAを認めず、Bを並べて

言い逃れをすること。

(9) 線部⑦は「欲礪其齒」を書き下し文に改めたものである。

返り点をつけなさい。

解答用紙

47ページ

模範解答

58ページ

【問四】 次に示すのは、文章Ⅰが『十訓抄』の一節、文章Ⅱが『世説新語』の一節を書き下し文に改めたものである。これらを読んで、下の各問いに答えなさい。

文章Ⅰ

楊梅大納言（宮様・皇族）顕雅（ただれの敬称）卿は、若くよりいみじく（言い間違い）言失をぞし給ひける。

② 神無月のころ、ある宮腹（宮様・皇族）に参りて、御簾（ただれの敬称）の外（と）にて、女房たちともものがたりせ

られけるに、③ 時雨（さつと降ってきたので）のさとしければ、供なる雑色（雑役などをする家来）を呼びて、「車の降るに、時雨

さし入れよ」と④のたまひけるを、「車軸（車輪をつなぐ心棒（大雨が激しく降る様子を、「車輪を流すような雨」ととかやにや、おそろしや」とて、御簾

の内、⑤ 笑ひあはれけり。  
（この言葉がある）

さて、ある女房の、「御いひたがへ、つねにありと聞ゆれば、まことにや、

(1) 〰 線部の言葉を現代仮名遣いに直して、ひらがなで書きなさい。

① いはれければ ② をりふし

(2) 〰 線部「いみじく」の意味として、最も適切なものを次のア～オから一つ選び、記号を書きなさい。

ア 困った                      イ はなはだしく                      ウ 貧しく  
エ ちよつとした              オ 趣深い

(3) 〰 線部①「言失」とあるが、同じ内容を表す語句を、文章の中から抜き出して書きなさい。

(4) 〰 線部②「神無月」は陰暦何月の異名か。漢字で書きなさい。

(5) 〰 線部③「時雨」の読みを、ひらがなで書きなさい。

表

品目名 (五十音順)	貯蔵最適 温度 (°C)	適湿度 (%)	エチレン 生成量	エチレン 感受性
アスパラガス	2.5	95~100	極小	中
サツマイモ	13~15	85~95	極小	低
ダイコン	0~1	95~100	極小	低
トマト (完熟)	8~10	85~90	多	低
ナス	10~12	90~95	小	中
ニンジン	0	98~100	極少	高
ネギ	0~2	95~100	小	高
ピーマン	7~10	95~98	少	低
ホウレンソウ	0	95~100	極小	高
ヤマイモ (ナガイモ)	2~5	70~80	多	中
レタス	0	98~100	極小	高

(国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構のグラフより抜粋)

山口さん ちゃんと調べた結果があるんだね。野菜の鮮度にエチレンが関係しているなんて、知らなかったよ。

木村さん 表を見ると、ネギに比べてヤマイモの方がエチレン生成量がずっと多いなあ。

田中さん この資料と表を見ると、ネギの方がエチレン感受性が  
から、鮮度が落ちて早く腐るということがわかるよね。グラフを  
見ると、一目瞭然だよ。

山口さん 科学的根拠を、資料や表で示されると納得できるね。

【問三】 次の各文には、誤って使用されている漢字がある。その漢字を抜き出し、正しく訂正しなさい。

(ア) 近年感染者数が増加傾向にあるインフルエンザの専伏期間は、一日から二日といわれている。

(イ) 年齢を重ねるごとに感賞的な映画を観る機会が増えてきた。

(ウ) 好機が訪れたと、有頂点になって歓喜する。

(エ) 予算案が、長時間の審議の結果、非決された。

(オ) 絶恐マシーンは苦手です。

(カ) 大好きな祖父と一緒に、昆虫採集に出かけたことを回顧する。

【問二】 山口さんと木村さんと田中さんが話をしている。次に示すのは、三人の会話の様子である。これを読んで、下の各問いに答えなさい。

## 三人の会話の様子

山口さん 私のお兄ちゃんがスーパーマーケットでアルバイトを始めて、野菜売り場の担当になったんだけど、さっそく先輩に注意されたって落ち込んでいたよ。

木村さん どうして？

山口さん きみは野菜の並べ方も知らないのだった。ヤマイモとネギを隣同士で並べるとネギの鮮度が落ちるから、離して並べろだって。本当に①そんなことってあるのかなあ？

木村さん その先輩の②思い込みなんじゃないのかな。別に科学的根拠があつて言っているわけじゃないと思うけどな。

田中さん いや、それは本当のことだよ。僕の伯父さんが大学で野菜の研究をしていて、確かに一緒に並べない方がいい野菜があるって言うていたよ。参考に資料と表をもらったんだ。これを見てよ。

## 資料《野菜の最適貯蔵条件》

野菜を新鮮に保つためには、温度と湿度が重要です。また、野菜は老化ホルモンとも呼ばれるガス状の植物ホルモン「エチレン」を生成するので、エチレン生成量の多い野菜と、エチレン感受性の高い野菜を一緒に貯蔵しないように注意すれば、さらに新鮮さを長持ちさせることが可能です。

(国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構)

(1) 線部①「そんなこと」のさす部分を文章中の言葉を使って、「こと」に続く形で書きなさい。

(2) 線部②「思い込みなんじゃないのかな」とありますが、木村さんがそのように思ったのはなぜか。その理由を次のようにまとめるとき、に当てはまる言葉を文章中から五字で抜き出して書きなさい。

先輩の話には、がないと思ったから。

(3) 文章中のに当てはまる言葉を文章中よりさがし、抜き出して書きなさい。

(4) 次の i、ii は、山口さん・木村さん・田中さんのどの生徒の考えか。書きなさい。

- i 先輩の考えは正しいと思っている。
- ii 先輩の考えが正しいかどうか判断をつけかねていた。



